いわき民報
平市町48 電381・176
編集兼印刷人 田原 登
發行人
日刊 但月曜を除く
定價1月40円
1部1円50錢
發行所 いわき民報社

武裝警官隊大擧出動
今曉十八名逮捕
湯本地區等を一齊急襲

內鄉町白水地區急襲以來相變らず內偵を進めていた平搜査本部では二十六日拂曉特別搜査隊、應援隊等武裝警官九十余名を動員トラック二台に分乘して湯本地區を急襲、數班に分れて各容疑者の自宅を襲い午前四時半頃から五時までの間に平務署に十四名を大量檢擧し引揚げた、檢擧者氏名次の通り

△共產黨湯本細胞群入仙分會委員長西原新七（三三）△同常磐分會副委員長佐藤進一（二〇）△同入仙分會文化部長渡邊一男（二六）△同島分會副委員長佐藤進二（二〇）△常磐勞組湯本支部長機野清次（三七）△同勞組書清野誠助（二三）△同佐藤一（二四）△同佐藤輝夫（二七）△同佐藤進（二二）△同丹保（二〇）△同遠藤弘（二四）△同加賀徹助（二五）△元國鐵平驛連委員長吉田正夫（二四）△朝連湯本分會元厚生部長朴昌順（三三）

なお搜査本部では同日午前五時頃內鄉新綴無職えん起齊（二九）を、又二十五日午後內鄉町宮元發炭鑛勞組員宮崎昭（二二）全國平支部書記長草野光平（二三）小名濱町定西平地區勞書記長佐川市右エ門（二三）好間村上好間炭勞賃金對策部長鈴木孝三郎（二七）の四名を逮捕したが、これで二十六日正午までの逮捕者數は一躍九十名に增加した

新に十四名に逮捕狀
何れも附和雷同組

平簡易裁判所では二十五日午後七時を期し平事件容疑者として湯本町湯本平地區勞青婦會議長元國鐵平驛連區分會執行委員吉田正夫（二四）ほか十三名に騷擾並びに住居侵入罪で逮捕令狀を發した、今度の容疑者は殆どが附和雷同組である

四名を起訴
三名を釋放

福島地檢平支部では平事件容疑者として檢擧取調中であつた內鄉町白水矢鄉鑛運搬夫石內力正（二二）同白水採炭鑛勞組副組合長齋藤晴行（二七）同湯本町湯本朝連委員金龍洙（三五）の四名を二十六日騷擾並びに住居侵入罪で起訴したこれで二十六日正午迄に起訴したものは四十名の多數に上つている、なお同容疑者として取調中であつた醫師町朝連分會長朴申道（四四）內鄉町白水矢鄉鑛運搬夫石內力正（二六）同白水採炭夫長谷部正夫（二六）の三名は逃亡のおそれないものと見て二十五日身柄を釋放、身柄不拘束のまま近く起訴することになつた

熊谷巡査の不正なし
平地區署で聲明

平地區警察署では今般の好間村古河炭鑛駐在所勤務熊谷巡査（五一）の檢死事件に就いて大要次の樣な聲明書を發表二十六日、市內、好間村に貼布した

日共石城地區委員會では市內各方面にアヂビラを貼り事件の眞相に就いて一般に種々の疑惑を抱かせているが事實は本年三月中好間村上好間字小鎚一八軌道夫別紙義清（四四）は長男が家出不在中この分を不正受配六斗一升を得たが同巡査は戶口調査により發見、幽靈受配として署長に報告せんとしたが、別紙は妻に逃走され後妻を迎えたが移動證明の手續きも濟ます、それに同巡査の妻が病氣死亡中女中として使用したことがあり、家庭的に恵まれぬ自己の境遇を考へて同情、不正受配分を購買會に逐次辨償することにしたもので、別紙は感謝しつつ月賦で米一斗を返濟、五、六の二月で米を辨償、五、六の二月で米二十五四二十錢は同巡査が受領し受領書もあり、本人は現金をもらつてある、ところ七月三日同炭鑛の舟木寛一、平川一郎、門馬八郎らは同巡査が不在中この問題の不正に就いて家族を脅迫したので七日檢擧されたところ二十日古河好間細胞の金內直は別紙を訪問〃米を返す必要ない樣にしてやる〃と事情ワイ曲して石城地區委員會に報告、二十一日同村地內各所にアヂビラを貼り、同巡査の非行をみつけて糾彈しようとしたが二十二日古河駐在所に多數押寄せ據だとゆう別紙の妻を引連れ同巡査の責任を追求したものである、同巡査は連日の搜査過勞と家族に對する脅迫被害を苦慮していたもので遺書にもある通り「不正の事實はないが」といつているが獨斷を以て情狀酌量の說諭處分にした責任が上司並に一般警察官の威信に及した恥を死を以つて警察の權威を守ろうとしたものでここに深甚なる敬意を表する

農地委選擧
資格審査表提出

來月十一日までで締切る農地委員立候補屆を前にして石城地方事務所では二十四日各町村の資格審査表提出の受付けを打切り縣へ進達した、これによると郡內から集つた資格審査表は次の通り

△泉四△渡邊七△山田一四△鮏五△勿來九△上遠野三

高壓線に觸れ
感電卽死

勿來町大日本炭鑛坑內運搬夫鷹見三吉（二四）さんは二十五日午前十一時四十分ころ同町大字酒井字出倉の自宅でラジオの引込線を作つておつたがあやまつて高壓線に觸れ感電死

左傾的態度見えず
和やかに歸鄉
第二次引揚げ先發隊歸る

ソ連引揚英彥丸の本郡歸還者は二十五日十六時五十七分平着列車で十一名歸鄉した、歸鄉者十四名の中大浦村鯨岡寬氏はじん麻疹のため舞鶴の病院で手當を加えているが二、三日中には歸鄉する後定、又泉の齊藤武雄內鄉の金成義秋南氏は私用のため次郎丸の一行と二十六日歸鄉する

この日列車到着二十分前よりホームは『愛の運動協議會』家族、YMCA關係者等百名が日の丸を手にして出迎え列車到着と共にアイスクリーム、湯茶等の接待、磐女生たちの合唱に相應方面の歸還者五名はおとなしく聞き惚れて第一次引揚者のような左傾的態度もなくYMCAの人達が差出す讃美歌を一諸に口ずさみ發車汽車の窓からいつまでも手を振つていたこの日は赤旗も見えず迎つた人迎える人ともになごやかな歡迎風景を展開、平驛で下車した豐間の四家武雄さんは出迎の家族の人達に圍まれて自動車で懷しのわが家に歸つて行つた

惠山丸の七名
廿日夕刻に平着

ソ連引揚船惠山丸の本郡歸還者は左の七名で三十日十八時五十七分平着列車で歸鄉する

草野（石田祭（赤井）佐藤光房（磐崎）丹野一夫（小名濱）小野一夫（勿來）江尻貞和（赤井）

小型指導船の建設
兩港の業者から陳情

縣經濟委員の一行は十三日小名濱、二十四日江名、二十五日四倉の日程で漁港視察を行つたがこれに對し小名濱、江名兩港の業者たちは縣指導船共榮丸（百二十八トン）のほかに底曳など沿岸漁業の指導並に取締を強化する目的で小型指導船を建造して欲しい旨陳情した、業者側ではこの小型指導船の建造及設備費用を五百五十万円と見ているが、若しこの業者側の要望が容られて同指導船が實現すると遠洋を受持つと共に沿岸のイワシ揚繰、サンマ搾受、底曳漁業など指導約束割は一層大きなものがあるので期待されている、なお縣カツオ、マグロ漁業協同組合長金成德治氏は縣內第一位の水揚を誇る江名、中の作兩港の鮮魚が小名濱を經由して中通り方面へ發送すると一日間も掛つてすつかり鮮度も低下して仕舞うので平—江名間の道路を急速に改修し平を經由して直接出荷したい旨地元漁民を代表して陳情、同委員一行も善處を約した

三松炭鑛ガス爆發
作業中の一名重傷

川部村三松炭鑛では二十五日午後三時五十分ころ本線斜坑引立でガス爆發があり交替し（二七）さんは爆風火傷で重たばかりのポンプ方小林四郎態、平炭鑛保安監督部では急報により伊藤監督課長、小林監督官が現場に急行調査中であるが、同炭鑛は二月にガス爆發あり死傷者六名を出したがこれで二度目である

再び督促狀

前進座課稅問題で共產黨石城地區委員會平支部の前進座興行に對する課稅問題で二十三日石城地方事務所稅務課では再び入場稅四万六千六百二十円に對する督促狀を共產黨石城地區委員會鈴木光雄宛發した

放出の綿布

平市では放出豫約綿布の配給を現物が到着したので二十九日午前八時から午後六時まで三丁目勝銀第三和會館で行う、なお過衣料切符は今月末まで〻無効となるから注意するよう要望している

三名減多打の犯人送檢

【既報】二十一日磐崎村大字上湯長谷ポン前飯業菊崎光男（三七）さん一家をバットー減多打ちにした事件に就き平地區署では二十二日殺人未遂容疑者として同村齊藤春雄金澤力を逮捕したが齊藤春雄さんは疑晴れて釋放、金澤力は二十四日身柄送檢された

また溺死

內鄉町大字內町字前田三常磐炭鑛採炭夫（親和寮十二號室）佐藤吉次（〇）さんは二十四日午前十時半ころ同僚六十名と錦町大字大倉字吉原富川で水泳中行方不明となつたが二十五日午前十時十五分ころ同川から溺死体となつて發見された

スリと盜難

◇平市田町無職鈴木千代子さん（四八）は二十六日午前八時頃草野驛で現金一千二百五十円をスラレた

◇小名濱町運輸省港灣工事々務所技術員佐藤昭雄さんは二十六日午後一時頃常磐線上り列車內で湯本、泉間の途中網棚に上げて置いた風呂敷、蚊帳ほか衣類五點、七千九百円相當を盜まれたと平鐵道公安所に屆出た

所得の申告
本月中受付

平稅務署では二十四年度所得稅豫定申告期限が六月末日迄となつていたが特例を設け七月一杯までとしたので未提出者は早急提出する樣のそんしている

貨物主任交迭

國鐵平驛貨物主任宮伏秋治氏は二十五日付で水戶鐵道局長に榮轉、同日赴任した後任は水戶管理部深澤貨物指導官が着任

うなぎ
平市雷町
蒲燒 松本樓
電一一三

芝浦モーター。扇風機
（ラジオ特價販賣中）
夏の家庭用電氣器具各種取揃
東芝特約店
株式會社 岡田商店
平市才通小路30 電123番

ビヤホール開設
夏の味覺!!
生ビール
平驛前 ビヤホール平華
電話九〇八番

七夕用裝飾材料
金銀色紙 短冊 ランタン 楠玉 三尺マデ
其ノ他加工品色々取揃エテアリマス
ドウゾ御來店ノ程ヲ
平市二丁目 森下玩具店

◇開店十周年記念◇
懸賞3万圓
謝恩福引大賣出し
7月20日より8月末日まで
時計一箇お買上げの方に
A券1枚
100円毎に B券1枚
御中元御贈答に時計を
今が買い時です
誠光堂時計店
平市銀座街電988

榮養價滿點
一龍のアイスクリーム
パンとケーキ
市川パン店委託取次
電話 一一七〇（イイナー）
平市1丁目 谷口櫻前

裁洋夏季講習會
◇講師 東京文化服裝學院教師 洋裁雜誌「裝苑」主任 松本美代子先生 外數名
一、七月二十九 三十 三十一 日三晝間 午前九時より
一、內容 普通裁斷科（資格自由初步より） 高等裁斷科（各洋裁學院卒業生補習等資格者）
一、會場 平市紺屋町二一（電一七八）
一、會費 一五〇圓 申込受付中
主催 公認 平高等洋裁學院

油なら何んでもしぼれる
優秀なる機械と設備を誇る
品質本位の 平市大町（新築中の東北配電營業所隣）
農林省指定 清水製油工場 電話一一六番
を御利用下さい
◇…迅速丁寧に搾油致します

夏期講座（上）

石城の農業

農試分場長　荒井敬助

我が國の農業は今や重大な轉換期に立つて居るかと思うそのけい機をなすものは云うまでもなく敗戰に伴う我が國經濟機構の内部にあつては農地制度の改革を基點とする農業機構解体の進展である。戰爭による破壞敗戰に伴う賠償或は諸種の制約等によつて工業の多くを喪失しなければならない我が國にとつて海外から迎えた多數の同胞は巷に溢れ對農村人口壓力を當て見ない程度に達し食糧問題を始めとして今や新日本建設は何れの面に於てもその發足點を農業問題の上に求めねばならぬ狀態にある。この樣な重大時機に當つて我が石城郡の農業の將來を云う點について熟考檢討を加えること之亦極めて重要であると思う現在本郡のみならず、我が國の農家經濟は昭和二十一年を峠として年年收入減の一途をたどり反面インフレレによる農家の生產資材生活資材の品騰によつて所謂はさ麥、馬鈴薯、菜種、蔬菜、紫田一五〇〇町内大麥を始めとする開墾等の作付は僅に一、二〇〇町に過ぎないこれでも戰爭ようが狀況差が益々大きな開を見せ雪菜等の作付は僅に一、二〇の過重等全く農家經濟は破綻に近きものがある。こうした慘禍から一日も早く拔出るには第一に問題となることは爲にも本郡農業經濟について再檢討を要すると思う識つて本郡農業の特質と云うか特異點と云うか本縣の自然環境から見ると會津方部、中通、濱通の三地帶に判然區別出來る氣象的に一番惠れた所が本郡が最も惠れた所と云い得る從つて水田裂作の如きは極めて發達し東北地方一番の作付面積と反收を擧げて居る即ち昭和二十三年度に於て水田總面積八三〇〇町歩の内裂作可能田一五〇〇町内大麥を始めとする開墾等の作付は僅に一、二〇〇町に過ぎないこれでも戰爭をけい機として急激に增加したのであるが今後は更に增大して行くべきである。この爲裂作可能地であつても勞力が足らないので出來ないと云う點が大きい一体裂作はかりでなく一般農村人口は增して來たと云われて居ても現在の農家の經濟狀態では農作物の價格に對し勞賃が余りにも高く引合わないと云う事になるとそこでどうしても土地の交換に依つて近くに集團させ耕作力が小型發動機ブラウ九インチ床耕巾七寸耕深五—六寸一時間一反歩が僅か八千円程度で買えるから之をとり入れ耕耘作業の能率を上げ收穫調製農機具は動力脱穀機は相當數入つて居るので差支ない處に進んでは幸本縣は全國一の電力縣でもあるので伊達郡の粟野村の樣に農村電化の普及利用につとめ場所によつては村或は部落單位の小型發電を起して利用することもよい何と云つても耕地の集團化が先決問題だと思う。

幸本郡の裂作の氣候は播種期に割合降雨少く二—三月の候に暖く適當の降雨あり收穫期に割合に降雨少いと云う實に惠まれた所である。こんな爲村の一町七反位の農家に決して負けないと思う然し眞の農村恐慌來は農政學者の云う樣に多年の研究苦心の結果本郡の農家の最も大い耶麻郡千里地の農家は最も大い耶麻郡千里地の農家は最も大い耶麻郡千里地の農家は